

第32回 宮崎「橋の日」 イベント写真報告



(神山所長よりご挨拶)



(橋への献花)



(橋みがき)



(点字ブロックの清掃)

8月4日(土)宮崎市の橋橋にて、「橋の日」イベントを150名の参加で実施。式典では、戸敷市長、国土交通省宮崎河川国道事務所神山所長、宮崎土木事務所 矢野所長よりご挨拶をいただきました。その後、橋への献花、橋橋の欄干の汚れ拭き取り、点字ブロックの清掃(協力:宮崎県鋼橋コンクリート構造物塗装協同組合)をおこないました。河川敷では、国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所の協力により「橋橋体験見学会&道路老朽化対策パネル展」を開催しました。一方、「福島邦成と橋橋」などの紙芝居上映等、年間を通じてさまざまな活動をおこなっています。

8月4日 県内発「橋の日」磨いて感謝

宮崎・延岡で掃除イベント、市民ら汗

8月4日は「橋の日」。県内発祥の記念日に合わせて、普段何げなく渡っている橋に目を向けてもらおうと、宮崎市の橋橋や延岡市の安賀多橋で清掃イベントが催された。

橋の日は、延岡市出身で宮崎市在住の湯浅利彦さん(76)が1985年に提唱し、日本記念日協会にも認定された。

延岡市の安賀多橋でも早朝から市民ら約130人が集まり、橋の清掃と周辺の草刈りに汗を流した。

孫と参加した湯浅さんは「橋のない生活を想像してみると、すごく不便。橋は豊かな生活の象徴なので、年に1度くらいは目を向けてほしい」と話した。

宮崎市では宮崎「橋の日」実行委員会(大田原宣治会長)が主催し、今回で32回目。4日朝から宮崎学

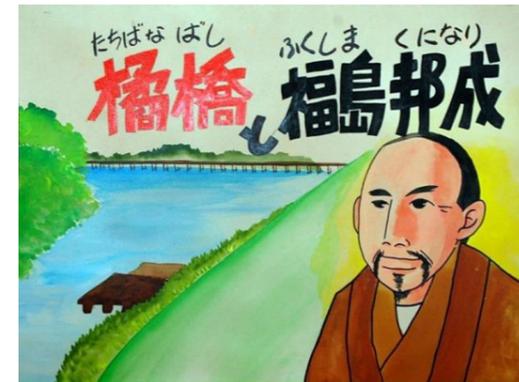
(松本真弥)



各種団体・事業所、学校より参加いただきました。



「とんとところ地震」「福島邦成と橋橋」の紙芝居上映を県内各地でおこなっています。また絵本化の計画も進めています。



地域の歴史やまちづくりについて、紙芝居を通じてお伝えしています。また、紙芝居の演者育成セミナーを開催するなど、活動の幅を広げています。



橋橋の手すりをタオルで磨く参加者たち=宮崎市
(朝日新聞 2018年8月5日掲載)



公益財団法人宮崎県建設技術推進機構より、ご協賛いただき、「橋の日」幟、100枚他、Tシャツ等を製作しました。

■ 橋橋体験見学会 & 「道路老朽化対策」パネル展の開催

協力:国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所



橋のメンテナンス作業を体験。



パネル展示も同時におこなわれました。



■ 地域のお宝再発見ツアーin鹿児島

11月3日(土)~11月4日(日)。今年で7回目となるツアーは、土木遺産、歴史遺産などを見学し、今後の活動に活用するというものです。鹿児島県伊佐市曾木の発電所遺構、阿久根市の黒之瀬戸大橋、鹿児島市石橋記念公園、千蔵園などを巡りました。

宮崎「橋の日」実行委員会

事務局 担当:鶴羽(つるは)
〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂2574-6
連絡先:090-9566-4159
FAX:0985-72-2730